

CHALLENGE NEWS

チャレンジニュース!!

一発行一
社会福祉法人 明徳会
〒861-5503
熊本市明徳町707-1
TEL(096)215-9101
FAX(096)245-2344

障害者支援施設
チャレンジめいとくの里

障がい者ケアホーム&グループホーム
orangehouse 地域生活支援センター チャレンジ
LOCAL LIFE SUPPORT CENTER CHALLENGE

第7回 めいとくフェスタ

平成23年11月5日(土)開催!!

※小雨決行

ごあいさつ
実行委員長 平野 康幸

「第7回めいとくフェスタ」では、「みんなが一つになれる! めいとくフェスタ!!」をテーマに実行委員をはじめ、めいとく全体で、本番当日に向けて日々準備を進めています。様々なイベントや今回は馬肉を使用した「馬カレー(50食限定)」などご用意しておりますので、どうぞ気軽にご参加ください。

ゴミ袋販売

昨年の十月から熊本市ではゴミ袋が有料になり、当施設でもゴミ袋の販売を行っています。お気軽にご利用ください。

【販売時間】
月～土曜日の九時～十七時

【販売場所】
チャレンジめいとくの里 事務室
(正面玄関から入り、右側にあります)

※当施設の都合により、日曜日は販売しておりません。申し訳ありません。

あなごがらり旅

【寄贈】
お菓子・トイレトペーパー・ジューズ・栄養ドリンク・パン
ゴーヤ・みかん

地域生活支援センター チャレンジ

「熊本市災害情報メール」をご存じでしょうか?
これは防災情報などを登録された熊本市民のみならず、さまにメールで携帯電話等へ配信するシステムです。緊急防災情報、防災情報、気象情報、消防情報があり希望する情報を選択することが出来ます。防災情報では、大雨情報や避難所開設情報などに関する情報、気象情報では地震、津波、火山、台風、注意報・警報の情報が配信されます。

【問い合わせ先】 熊本市消防局情報司令課
電話：363-7137
Mail：shouboujouhou@city.kumamoto.lg.jp

携帯電話はいつでも確認することが出来て、いち早く情報を得られ便利だと思います。在宅の相談者で単身者、高齢の親子世帯の方は特に気になり、緊急時のご支援に役立てたいと思い私も登録しています。

地域生活支援センターチャレンジ
(旧：めいとく福祉相談室) 後藤

◎住所 熊本市植木町植木 163-1
◎電話 227-6450 ◎F a x 227-6451
◎E-mail meitoku-challenge@live.jp

Private Eyes!

～「私のおススメの一品」～
事務員 岩崎 梢

10月に入り過ごしやすい季節になりましたね。この時期は読書やスポーツもいいですが、秋はやはり“食欲の秋”ですかね。

そんな“食欲の秋”に皆さんにご紹介したいのが、山江村特産、旬の栗を使った“栗まんじゅう”です。

こちらは九州自動車道山江サービスエリア(上り・下り)で販売されているまんじゅうで、中には白あんと山江村特産の栗がたっぷり。外はふんわり、中はホクホク。素朴な味がたまりません。

冷めたらレンジで温めればいいので小腹がすいたときにももってこい。

また冷凍されたパック詰めもあるのでお土産にもgood。

山江サービスエリアにお立ちよりの際は“栗まんじゅう”をぜひご賞味ください。

栗まんじゅう
1個100円

お散歩がてらに、ちいさい秋を見つけて来ました。ちょっとみんなにご紹介♪

水前寺菜ですよ～

メイちゃんが行く!!

秋のめいとくぶらり旅

イイ眺め♪

秋と言えは栗!!

「振り返って思う事」大学からの五年間、職員奮闘記



生活支援員
岩崎 恵
●所属: 就労移行 (チャレンジメイト)
●勤続: 2年目

『最初に』
職員奮闘記…ついにまわって来ました。なにか書いていいか…チャレンジメイトは毎号楽しみに見ていたが、いざ私の番となると緊張します。ですがここは、せつかくの機会なので、福祉との出会い、めいとくのリに入ってから、の事を振り返ってみようと思ひます！

『福祉との出会い』

私は高校卒業後、祖母の影響もあって、大学では社会福祉学科を専攻しました。それまで高齢者の方と接する機会が多く、介護の勉強をしたと思っていたのですが、大学で勉強していくうちに子どもからお年寄りの方々と接する仕事をしたと気持ちが変わってきました。そんな中、はじめて知的障がい分野に興味をもったのは就職活動の時です。縁あって、知的障がい者施設で実習をすることになり、いろんな方と触れ合うことができました。それまで私は知的障がいの方が身近に

『めいとくの里に入って』

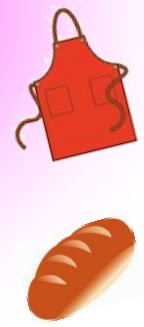
入社してからの一年間はとても早かったように思います。初めての事がたくさんあり、自分に自信が持てず悩むことも多かったのですが、その半面、嬉しかった事も多く充実した一年でした。なかなか慣れることができず、うまくいかなかったとき、先輩から「決まった支援はないから、自分らしくやってみていい」と言われたのを思い出します。



おられなかったという事もあり、どんな方達なのかと関心を抱いていました。そのときの実習では、とても親身に話を下さったり、毎日いろんなことが起こったりと、あっという間の四週間だったことを覚えています。

その後も実習や施設見学、障がい者スポーツ、ボランティアに参加したりと障がい者の方と関わる機会が多くなっていきました。この場においても印象的だったのは、利用者の方々の笑顔が絶えずあり、職員の方も家族のように接されているところでした。さまざまな体験、出会いを通して、私も人に喜んでもらえるような仕事をしたいと思ひ、福祉の道へ進むと決心しました。

また、ご利用者様体験のときは、身体障がいを持つ方になりきって過ごし、たくさんのご利用者様から「大丈夫？」と優しく声をかけられて、親切に頂いたので思ひ出します。今までの事を振り返ると懐かし、恥ずかしい事もあったりと、たくさんの方の経験を見せていただきました。



『就労移行支援事業』

私は現在、就労移行支援事業(チャレンジメイト)に所属して二年目になりました。今、十名の方の担当をさせていたでいます。その中には、十八歳から四十八歳の方がおられます。心優しいNさんと独創的な考え方もあって歌好きなHさん、どんなことでもギャグにできるMドレーカーSさん、いけばシャイで優しいIさんもいます。歌ダンスが好きで心の素直なSさん、俳優好きで笑顔の素敵なTさん、明るく人懐っこいKさんに男前なKさん、照れ屋だけどまっしぐらなHさん、明るく活発なKさん。皆さん、一見どこに障がいがあるのか、どんなサポートが必要なのか悩むこともありましたが、日々どんな支援が必要か考えています。障がいって難しいですね。

身体障がいを持つ方とは違い、目に見えない障がいであり、接してみても気づくことが多くあります。そのため、まず相手を知ることからスタートし、向き合っていくことが大事だと考えています。



就労移行事業の訓練内容は清掃作業、マナー講座、調理活動、実習等を実施しています。また、個別活動を中心にその人の好きな事得意な事を活かせるようにも取り組んでいます。いろんな活動を通して一人ひとりの特性を知り、また本人にも知って頂く事が重要です。実は自分の事は知っているようで、相手に言われて初めて気付かされる事が多くあるのではないかと思います。就労移行支援事業は2年間と短い期間ですが、一人ひとり自分と向き合いながら社会に出る為の準備を一緒にしていければ良いなと思っています。社会で頑張っているみなさんの姿を見るのが楽しみです。

ゆめ・くらし 実現に向けて

今年度四月から新たにゆめくらし事業部としてスタートしたオレンジハウスですが、準備に少し時間がかかってしまい、八月にようやく二名の方に入居していただき新しい生活をスタートしています。

十月現在で六名の方が生活されており、毎日朝から歩いてめいとくの里通われています。最初こそ戸惑いがあった方も今は「オレンジが良か」と明るく話をしてくれるのを聞くと私もほっとひと安心です。

まだスタートをきったばかり、これから色々なことをみんなで考えながら楽しく生活していければと思っています。明徳地区の方々に見守られながら地域の中の一員としてそれぞれの「夢・暮らし」実現に向けお手伝いできればと思っております。『オレンジハウス』をどうぞよろしくお願ひ致します。



オレンジハウスとは…

当法人が今年度オープンしたグループホーム&ケアホームです。

- 施設概要…
- 居室 10室(全面個室、洗面完備)〈共用部分〉
 - 浴室1、ユニットバス1、トイレ5
 - リビングダイニング1、洗濯室1

オレンジハウスニュース

オレンジハウスの日常を写真に撮らせていただきました



オレンジハウス入居ご利用者様からインタビューしました!!

- 入居ご利用者様男性・女性ご利用者様各1名に聞きました。
- Q. オレンジハウスにいてどのくらいの楽しみは何ですか?
ご利用者様 Mさん…支援員と話しているとき
 - Q. オレンジハウスに入る前と今では生活はどう違いますか?
ご利用者様 Mさん…わからぬ
 - Q. 夜は何をして過ごされていますか?
ご利用者様 Mさん…テレビを見て過ごしている
 - Q. オレンジハウス内で一番好きな場所はどこですか?
ご利用者様 Mさん…娯楽室、部屋
 - Q. めいとくの里からオレンジハウスまで(約200m)歩くのはきつくないですか?
ご利用者様 Aさん…最初はきつかったけど、今はきつくない
 - Q. もっと「めいとく」してほしいとご要望はありますか?
ご利用者様 Mさん…外に買い物に行きたい
 - Q. オレンジハウスの生活はどうですか?
ご利用者様 Aさん…静かで住みやすい
 - Q. オレンジハウスの生活はどうですか?
ご利用者様 Aさん…DVDを借りて部屋で見たい
- インタビューから一言…
オレンジハウスでの暮らしは、時間がゆっくりと流れており一人ひとりが有意義に過ごされています。支援員も一緒に他愛もない話をしながらお茶を飲んだり、楽しく過ごさせてほしいです。
- (広報担当 森塚)